

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・渋谷区という都心にある保育園だが、散歩に出ると代々木公園など自然に触れられる公園が多くあり、子どもたちは季節毎に身近な自然に触れて興味関心を深めている
- ・様々な事への探求心が深く、活動への興味を持って意欲的に関わる姿が多く見られる

2. 活動スケジュール

春 散策を楽しみながら身近な植物に触れて楽しむ

夏 夏野菜を育て観察しながら成長の様子に興味を持つ
遊びを通して風の動きや変化に興味を持って遊ぶ

秋 身近な自然物に触れて遊び込む

冬 講師を招いてこれまでの活動を深めながら自然に触れたり、探求を深めていく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・自然に触れられる公園に散歩に出かける
- ・見つけたものを入れるための袋
- ・自然物を利用した製作の材料

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・散策しながら花や葉に触れて遊ぶ
- ・気に入った物を収集する
- ・持ち帰ったもので遊んだり製作したりする

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

桜が綺麗に咲いているのを観察するところから今年度の「自然」に関わる活動が始まった。見上げて桜を眺めたり、拾って見せ合ったりしていくうちに花びらを集めて投げ合ったりし始める。タイミングよく風が吹くと綺麗に花びらが舞うこともあり、ダイナミックに遊び始めていた。散歩の道中でも様々な花を目にする機会が多く、色や形に興味を示すようになる。代々木公園のローズガーデンではバラの美しさだけでなく、匂いにも興味をもち色によって異なる匂いがすることなども発見する。友だち同士声をかけあい、匂いを自分なりの言葉で表現しようとしたり、どの匂いがお気に入りか伝え合う姿などが見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

様々な自然物に触れる中で、子どもたち同士思いを伝え合い関わりを深める姿や新年度になり新しい異年齢の関わりが生まれたりする姿を見ることができた。保育士がきっかけ作りをすることで遊びや発想が広がっている。花びらが舞う様子を見ながら風の動きへの興味が出てきている。